

教科名	国語	科目名	国語a	履修学年	中学 高校	3年	A~E 組	
単位数	2 単位	使用教科書 補助教材等	国語3 (光村図書)					
担当者	松岡 冬音 小池 晶子		光村の国語のワーク3 (光村教育図書) セレクト 漢字検定5-2 級 (桐原書店)					
学習目標	物語や論説文を読み、考察するとにより、社会に向き合っていくための国語力を身に着ける。また多様化する社会に必要な、論理的思考力や、それを自分の意見として他者に伝えられる表現力を身に着ける。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするとともに適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に取り組むとともに、積極的に学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査 基礎問題 ②小テスト ③ノート・ワーク・提出課題		①定期考査 応用問題 ②提出課題		①学期末の研究課題 ②読書記録シート・振り返りシート・作文コンテストなど			
※各観点における評価方法は横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率(%)	50		30		20			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	・ 井上ひさし『握手』 ・ 山極寿一『作られた「物語」を超えて』				10	1 学期 中間 考査	第1回 到達 度 確 認 テ ス ト
	5							
	6	・ 羽生善治『人工知能との未来』 ・ 松原仁『人間と人工知能と創造性』				8	1 学期 期 末 考 査	
	7	・ 説得力のある構成を考えよう ・ リオの伝説のスピーチ 到達度範囲：森鷗外『高瀬舟』						
8								
2	9	到達度テスト①				8	2 学期 中 間 考 査	第2回 到達 度 確 認 テ ス ト
		魯迅『故郷』						
	10	中間考査						
	11	・ 長倉洋海『エルサルバドルの少女ヘスース』 ・ 白川優子『紛争地の看護師』				10	2 学期 期 末 考 査	
12	・ 宇多喜代子『俳句の可能性』 ・ 俳句を味わう 到達度範囲：星野道夫『アラスカとの出会い』							
3	1	到達度テスト②				10		学 年 末 考 査
		・ 鷲田清一『誰かの代わりに』 ・ 今道友信『温かいスープ』						
	2	学 年 末 考 査						
	3	・ 新川和江『わたしを束ねないで』 ・ 島崎藤村『初恋』						

教科名	国語	科目名	国語b	履修学年	中学・高校	3年	A	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	国語3(光村図書)/光村の国語のワーク3(光村教育図書)/古典文法基礎ドリル(河合出版)						
担当者	竹内		読んで見て覚える重要古文単語315(桐原書店)/中学書写一・二・三年(光村図書) 教員作成プリント						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き文語文法の基礎を習得し、古文の基礎的・発展的読解力の育成に結びつけられるようにする。 基本的な古文単語の意味を覚え、基礎的・発展的読解に役立てられるようにする。 漢文訓読の基礎を徹底したうえで再読文字の習得も行い、漢文の基礎的・発展的読解力の育成に結びつけられるようにする。 書写においては、昨年度に引き続き行書を扱い、2年次よりも質を向上させる。 								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	古典読解に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		古典読解を通じ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。			各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習に対する態度や現状を正確に理解し、積極的に課題や活動に取り組もうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査、小テスト		定期考査・小テスト			音読、グループ学習、授業態度、課題提出			
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%			10%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	古典文法…用言の活用の復習① 古文…枕草子(冒頭文)					2 6	1 学期 中間 考査	第1回 到達 度確 認テ スト
	5	小テスト							
	6	古典文法…用言の活用の復習② 古文…奥の細道(冒頭文) 小テスト					2 6		
	7	(答案返戻)・書写…行書(全国書画展覧会に向けて)					2		
	8								
2	9	書写…行書(全国書画展覧会に向けて) 漢文訓読…復習(返り点・書き下し文)・再読文字①「未・将(且)」 漢文…晋書(蚩雪の功)・唐詩紀事(推敲)					1 3 6	2 学期 中間 考査	第2回 到達 度確 認テ スト
	10	小テスト							
	11	古文…徒然草(これも仁和寺の法師) 小テスト					10		
	12	(答案返戻)・古典の基礎総復習					2		
3	1	古文…万葉集・古今和歌集・新古今和歌集(和歌の技法) 漢文訓読…再読文字②「当・応・宜」 漢文…戦国策(蛇足)					5 1 4	学 年 末 考 査	
	2	小テスト							
	3	(答案返戻)							

教科名	国語	科目名	国語b	履修学年	中学・高校	3年 B～E	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	国語3(光村図書)/光村の国語のワーク3(光村教育図書)/古典文法基礎ドリル(河合出版)					
担当者	隠田 竹内		読んで見て覚える重要古文単語315(桐原書店)/中学書写一・二・三年(光村図書) 教員作成プリント					
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き文語文法の基礎を習得し、古文の基礎的読解力の育成に結びつけられるようにする。 基本的な古文単語の意味を覚え、基礎的読解に役立てられるようにする。 漢文訓読の基礎を徹底したうえで再読文字の習得も行い、漢文の基礎的読解力の育成に結びつけられるようにする。 書写においては、昨年度に引き続き行書を扱い、2年次よりも質を向上させる。 							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	古典読解に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		古典読解を通じ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。		各單元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習に対する態度や現状を正確に理解し、積極的に課題や活動に取り組もうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査、小テスト		定期考査・小テスト		音読、グループ学習、授業態度、課題提出			
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%		10%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	古典文法…用言の活用の復習① 古文…枕草子(冒頭文)				2 6	1 学期 中間 考査	第1回 到達 度 確 認 テ ス ト
	5	小テスト						
	6	古典文法…用言の活用の復習② 古文…奥の細道(冒頭文) 小テスト				2 6		
	7	(答案返戻)・書写…行書(全国書画展覧会に向けて)						
	8							
2	9	書写…行書(全国書画展覧会に向けて) 漢文訓読…復習(返り点・書き下し文)・再読文字①「未・将(且)」 漢文…晋書(蚩雪の功)・唐詩紀事(推敲)				1 3 6	2 学期 中間 考査	第2回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	小テスト						
	11	古文…徒然草(これも仁和寺の法師) 小テスト				10		
	12	(答案返戻)・古典の基礎総復習						
3	1	古文…万葉集・古今和歌集・新古今和歌集(和歌の技法) 漢文訓読…再読文字②「当・応・宜」 漢文…戦国策(蛇足)				5 1 4	学 年 末 考 査	
	2	小テスト						
	3	(答案返戻)						

教科名	国語	科目名	国語c	履修学年	中学・高校	3年	全	組	
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	ロジカル国語表現Ⅲ(好学出版)						
担当者	松岡 冬音 竹内 宙明		教員作成プリント						
学習目標	文章を構造的に理解する手法としての要約法を繰り返し実践させる。また、論理的な作文法と資料読解を学び、多様な意見文の書き方を身に付けさせる。作文模試やコンテストのような校外からの評価を得ることを視野に入れ、作文指導を行う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。			各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするとともに適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に取り組むとともに、積極的に学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	授業内課題 定期考査 要約定期課題		授業内課題 定期考査 要約定期課題			授業内課題 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	要約の復習 書くことの基礎「正しい文を書く」					5	中間 考査	
	5	論理のしくみ①「接続語の働き」 論理の利用①「説得力のある文章を書く」 論理の利用②「論理的な構成で書く」							
	6	論理の実践準備「原稿用紙の使い方」 論理の実践①「テーマについて、根拠・具体例を挙げて書く」					5	期末 考査	
	7	論理の実践②「対比して立場を選び、反論を想定して書く」 税の作文など、他者の評価を意識して作文する							
	8	学期のまとめ課題							
2	9	テーマ型作文 文章読解型作文 論理の実践③「資料の種類を知る」					5	中間 考査	
	10	論理の実践④「資料を比較・考察する」 論理の実践⑤「資料を読み取って書く」 論理の実践⑥「資料を読み取って意見を書く」							
	11	論理の実践⑦「複数の資料と体験を踏まえて意見を書く」 論理の実践⑧「複数の資料と反論を踏まえて意見を書く」 入試作文に挑戦する					5	期末 考査	
	12								
3	1	論理や意見を発表する①「ディベート」 論理や意見を発表する②「卒業研究原稿作成」					5	学年 末考査	
	2								
	3								